



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

4月の行事予定

Calendar table with columns for date, day of the week, and event details. Includes events like '新任式 前期始業式', '第69回入学式', '対面式 1年制エンターション(1)', '1年制エンターション(2)', '1年制(3) 部活動紹介', '健康診断(2年)', '健康診断(1年)', '健康診断(3年)', '甲南鶴丸スポーツ交歓会', '創立記念日', '学年朝会', '体育保健合同委員会', '身体測定', '一日遠足', '全校朝会', '心臓検診', '昭和の日', '新体力テスト(1年) 尿検査(2次) 胸部検診(1年, 職員)'.

「世界紛争の要因に宗教があるから、大学で宗教学を学び紛争解決に役立つ。乗りが好きだから、国交省運輸安全委員会が事故防止のために働きたい。」鹿児島を活性化させるために中央集権的な今の仕組みを変えて豊かな暮らしができる地域づくりをしたい。この一年間、教育相談や朝のスピーチで三年生の生徒達が語ってくれた将来の夢である。私はそれを聞いてとても頼もしく感じた。その一筋の道を目指して、ひたすら前に進んでほしいと心から願う。一方で、最近の世の中に目を向けると、自然災害、世界紛争、虐待、未成年者による事件など、悲しく残念なことが多く...

三月を迎え、三年生の挑戦した大学入試の結果も判明しつつある。難関を突破し、合格を勝ち得た人は、大学で思う存分学んでほしい。残念ながら、今回は涙をのんだ人もいるが、それは自分の目標に向け努力し、チャレンジした結果である。その精神に賛辞を贈り、これからの更なる挑戦を応援したい。相田みつを氏の詩に「受身く負ける練習」がある。柔道の基本は受け身。受身とは投げ飛ばされる練習。人の前で叩きつけられる練習。人の前で負ける練習です。つまり、人の前で失敗をしたら恥をさらす練習です。(中略)若者頭と体のやわらかいうちに受身練習を。私自身、試合や練習で格好よく勝つことはほとんどなく、おおかた負けてきた。そのとき、どのような受け身を取ったのかは記憶にないが、それでも今までの自分を、周りの人に嫌われないようにおとなしく、仕事で失敗のないように無難にという消極的な気持ちで心の底にある。苦難を伴っても失敗を受け入れる姿勢が欠けていないかと問いた。もし失敗したとしても、そこから遅く、優しく生きていき、次への成功に繋げていきたい。そのために、まだまだ「負ける練習」を続けていこうと思ってる。

三月二日春の温かい日差しの中、鶴丸高校66期生のためにたいへん立派な卒業式を挙行していただきました。保護者をはじめ、同窓会、PTAと多くの方々に見守られての厳粛な卒業式は、卒業生一人ひとりの「我ここにあり。三年間を自らの足でしっかりと歩んできた。」という思いを込めた呼び名に対する返事に象徴されるように、一人ひとりが存在感を示した卒業式であったと思っております。特にご臨席なさった卒業66年を迎えられた六回生の先輩方は、校歌「はるばると」(正式には「青雲だそうです」)の制定とともに入学された学年ということもあり、想いも深かったことでしょう。朗々とした声が体育館中に響き渡り、



平成27年度定期人事異動 3月20日(金)に教職員定期人事異動が発表されました。転退職する教職員は次のとおりです。大脇 俊朗 教頭(鹿児島県教育事務所長) 齋藤 守重(事務局長) 定年退職 宮永 治(国語) 県総合教育センター 小島 昌吾(地歴公民) 出水高校 酒匂 恵子(数学) 楠原高校 木下 一浩(理科) 国分高校 田嶋 吾富(理科) 加世田高校 古里 洋平(保健体育) 大田高校 梅島 麻子(芸術) 加治木高校 蔵元 昭二(英語) 伊集院高校 福田 洋(事務) 松陽高校事務次長

「負ける練習」 二月末、三年生の大学受験に同行する機会があった。大学を訪問すると、自分の学生時代の勉強不足を後悔しつつも、高校とは異なる学究的な雰囲気を感じることができた。個別試験で訪問した一橋大学では、煉瓦造りの重厚な建物に、社会科学の総合大学としての歴史と伝統を感じることができた。東京外国語大学では、新しく開放的な環境が、国際的な視野を育て、世界に通じる知識を習得させるのだと思った。また、東京学芸大学の正門へ続く桜並木は、四月には満開の花で新入生を迎えてくれるのだろうと思いを馳せた。それぞれの大学で、若者が勉学に励み夢を語らいつつ、学生生活を謳歌してほしいと願うことであつた。

旅立ちに寄せて 三学年主任 酒匂 恵子 三月二日春の温かい日差しの中、鶴丸高校66期生のためにたいへん立派な卒業式を挙行していただきました。保護者をはじめ、同窓会、PTAと多くの方々に見守られての厳粛な卒業式は、卒業生一人ひとりの「我ここにあり。三年間を自らの足でしっかりと歩んできた。」という思いを込めた呼び名に対する返事に象徴されるように、一人ひとりが存在感を示した卒業式であったと思っております。特にご臨席なさった卒業66年を迎えられた六回生の先輩方は、校歌「はるばると」(正式には「青雲だそうです」)の制定とともに入学された学年ということもあり、想いも深かったことでしょう。朗々とした声が体育館中に響き渡り、

三月二日春の温かい日差しの中、鶴丸高校66期生のためにたいへん立派な卒業式を挙行していただきました。保護者をはじめ、同窓会、PTAと多くの方々に見守られての厳粛な卒業式は、卒業生一人ひとりの「我ここにあり。三年間を自らの足でしっかりと歩んできた。」という思いを込めた呼び名に対する返事に象徴されるように、一人ひとりが存在感を示した卒業式であったと思っております。特にご臨席なさった卒業66年を迎えられた六回生の先輩方は、校歌「はるばると」(正式には「青雲だそうです」)の制定とともに入学された学年ということもあり、想いも深かったことでしょう。朗々とした声が体育館中に響き渡り、

甲鶴戦両校部長会が鶴丸高校大会議室で行われた。甲南・鶴丸スポーツ交歓会(通称「甲鶴戦」)は今春4月17日(金)開催に向けて、現



「負ける練習」 二月末、三年生の大学受験に同行する機会があった。大学を訪問すると、自分の学生時代の勉強不足を後悔しつつも、高校とは異なる学究的な雰囲気を感じることができた。個別試験で訪問した一橋大学では、煉瓦造りの重厚な建物に、社会科学の総合大学としての歴史と伝統を感じることができた。東京外国語大学では、新しく開放的な環境が、国際的な視野を育て、世界に通じる知識を習得させるのだと思った。また、東京学芸大学の正門へ続く桜並木は、四月には満開の花で新入生を迎えてくれるのだろうと思いを馳せた。それぞれの大学で、若者が勉学に励み夢を語らいつつ、学生生活を謳歌してほしいと願うことであつた。

私自身、試合や練習で格好よく勝つことはほとんどなく、おおかた負けてきた。そのとき、どのような受け身を取ったのかは記憶にないが、それでも今までの自分を、周りの人に嫌われないようにおとなしく、仕事で失敗のないように無難にという消極的な気持ちで心の底にある。苦難を伴っても失敗を受け入れる姿勢が欠けていないかと問いた。もし失敗したとしても、そこから遅く、優しく生きていき、次への成功に繋げていきたい。そのために、まだまだ「負ける練習」を続けていこうと思ってる。

何をしても先輩に届かず大きな壁を感じ、ひたすらもがいていた一年生のとき、君たちは一気に中学生から鶴丸生へと変貌を遂げました。学習に関しても、いつの間にか相当な量をこなせるようになっていたことに気づいたはず。二年生の修学旅行では、外の世界に触れ刺激を受けたこと考え方や行動が外向きになってきたように思います。三年生となつてからは、鶴丸の最高学年として、受験生として、本当によく努力してました。校歌の中で私が一番好きな「究めなむ 道遠くとも」「ひたすらに 己を刻む」をまさに体現してくれました。その姿は、後輩たちに、また先生方やPTA、同窓会の方々にも十分伝わっていると思っております。君たちは三年間をかけて鶴丸高校に爽やかな風を吹き込んでくれました。そんな君たちを一つの言葉で表現するならば、「真面目さ」に尽きるのではないかと思っています。何事に対しても真摯な態度で努力をしてきた姿は立派でした。一つのエピソードがありま

きれいにしたらう？と声をかけたところ、こつと笑って「そのつもりです。自分たちが去年そうしてもらったので」と返ってきました。その女子生徒自身も、一年前の修学旅行中、自分の清掃場所を先輩に徹底的に清掃されていたのです。清掃をしてもらった先輩との会話はありませぬ。それでも、そういう形で伝えようとした先輩、その瞬間に感じる心があつた後輩...この交流こそが、姿や行動で示すという、真のFor othersだと思えます。よく「鶴丸生は卒業して初めて真の鶴丸生になる」と言われますが、君たちの心には「真のFor others」の火が灯つたのではないかと、君たちを見送つた今、感じています。

甲鶴戦両校部長会が鶴丸高校大会議室で行われた。甲南・鶴丸スポーツ交歓会(通称「甲鶴戦」)は今春4月17日(金)開催に向けて、現